

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年11月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102518
法 人 名	医療法人 春風会
事 業 所 名	グループホーム はるかぜ荒田（2F）
所 在 地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目39-1 (電 話) 099-812-3866
自己評価作成日	令和2年11月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- H13年10月、ホーム開設。市の中心部に位置しており、国道225線近くバス、電車等の交通機関に利便性が高いのでご家族の方にも訪問しやすい環境にあり、又、閑静な住宅街である為に騒音もなく穏やかな時の中に入居者の方々は過ごされている。
- 有料老人ホーム、居宅支援事業所が併設されている為、防災訓練、折にふれ、運営推進会議等で交流する機会もあり、相互に情報交換できている。地域の子供達がにぎやかに集う「古田ヶ浜公園」への散歩などで気分転換を図りながら、地域での催し等にも参加、交流しつつ、地域に開かれたホームつくりを目指しております、H29年6月に、地域住民、近隣の他福祉施設等との防災ネットワークを立ち上げ「共助」での相互の協力及び連携を強化できるように目指している。
- 入居者の方々の歩行力維持の為、下肢訓練を朝夕に実施、リハビリ訓練に取り組んでおり、協力医療機関の田上記念病院を始めとして緊急時には近医も多数あり、日頃も健康管理から医療連携を重視し、安心してホームで過ごせるように努めている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年12月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

（この欄は評価機関が事業所の優れている点や工夫点について記入する用意された欄です。）
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時、毎日理念の唱和を実施し、1階、2階すべてのスタッフが同じ理念の基、ケアの質の向上を目指して日々の業務に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会、クリスマス会等のイベントにご家族や町内会のボランティの方々に参加して頂く事で、地域イベントにも積極的に参加して関係性を築いているが新型コロナの影響で本年度は参加を控えて頂いている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通して地域代表者をはじめとする地域住民へ、日々実践しているケアをお知らせする事によって認知症高齢者への理解、支援方法の工夫を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域での取り組みやホーム内のと取り組を、スタッフ始めご家族、地域住民、包括支援センターの方々と共有する事によってサービスの質、向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事務所の実情を市町村担当者に発信、相談をして速やかに課題解決が行われる様に常に連携を図っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束ゼロであることを継続、維持できる為、ホーム外の研修会にも積極的に参加し、毎月身体拘束委員会を中心に学習をしている。この機会に研修内容の伝達と共有が周知徹底し、ケアの質の向上に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法や5つの虐待について毎月の職場会議で、理解を深め、利用者の尊厳を保持出来る様にケアの言葉にも注意を払いケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する制度への理解を深め必要性の是非をしっかりと理解できる様に外部研修や勉強会へ参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前、契約時には利用者、ご家族に施設の見学をして頂き、分かりやすい言葉で説明する様に努めている。解約や改定等の際は丁寧に十分な説明を行い理解を得て納得してもらう様にしている。			
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	介護相談員を年1～2回派遣していただき、利用者の思いを聞いていただいていましたが、コロナ禍で出来てない状況。ご家族の意見は職場会議、朝礼等でスタッフへ報告あり、共有され、支援に反映出来るようにしている。			
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回の職場会議、毎日の朝礼、終礼時に家族会、運営推進会議の中でいただいた意見や提案を管理者が随時報告し、日々の業務ケアに反映させている。			
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の定期健康診断が年2回実施、個々の体調を考慮しての勤務状況作りに努めて、勤務表作りで、希望休を入れて、気分転換、ストレス解消ができるように努めている。他施設の方々との交流の場も参加出来る様にしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内外での研修、勉強会を年間行事予定の中に取り入れ実施している。職場会議の中で研修に参加した方は発表、報告し、意見交換しながら学んだ事を共有、周知して日々のケアの質の向上に反映させている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	法人の方で同業者との研修、勉強会等の場を作って頂き、意見交換を行うことが出来る様に配慮してもらい、サービス質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	これまでの情報提供を基にスタッフ全員で状況把握をし、入居前の見学時は本人が困っている事、心配や不安な事、要望等に耳を傾けながら、ご本人が安心して生活して頂けるような関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時、相談時等に、ご家族が困っていること、不安な事、要望等に耳を傾けながら、出来る限り不安を取り除き、要望を受け入れ、安心して預けられる様な関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点で、ご本人やご家族の実情や要望等を確認、理解し、必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めて、安心で充実した生活が送れるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人を尊重し、日々の生活の中で出来る事、やりたいことを継続していただけるように支援に努めている。また、生活背景から本人の知恵を伺う機会を得るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナの影響で面会がなかなか出来ないが、窓越しにお顔を合わせたり日々の様子を「くらしの日記」に記録し、ご家族にお渡ししている。また電話で話しをしてもらったり、手紙、はがきを書いてもらったり、写真を送ったりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの影響で支援出来ていないが、電話連絡等は受け付けています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに、利用者同士が関わり合い、支え合えるよう、席替え等を行い、顔馴染みを作ったりし支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も必要に応じて、ご本人、ご家族の経過フォローし、不安等を和らげるよう、相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めており、困難な場合もご家族の意見も聞きながら本人本位に検討している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>情報提供書等で、一人ひとりの生活歴や生活環境、サービス利用の経過等これまでの暮らしの把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>入居者一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、残存能力等の現状把握に努めている。又、朝礼、終礼で状態報告をして現状を共有できる様にしている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族と話し合い、それぞれの意見を反映させ、スタッフ間で3ヶ月に一回モニタリングをし、必要な見直しを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	「心身の情報シート」を個別に準備し、日々の様子や気づきなど記録できる様にして、介護計画の見直しに活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	入居者一人ひとりの状況、その時々に生まれるニーズに対応して柔軟な支援が出来る様に努めている。ご家族と連絡を取り、協力をいただきながら、信頼関係にも努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域行事には地域の方の協力をもらいながら全員参加にと努めていますが、コロナ禍でホーム内行事になっています。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人や家族の希望を大切にして主治医からの指示をもらい連携を図っている。セカンドオピニオン等を受けられる様に臨機応変も出来ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中で得た情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	介護職員は利用者の心身の状態把握に努め、そこで得た気づきを看護職員に報告、指示を仰いでいる。看護職員の不在時も連絡を行い、医療機関との連携も取れている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者の入院時は、ご家族に速やかに連絡を行い、主治医より説明を行っている。入院中も病院関係者との情報交換を行い、地域連携室、主治医の意見を得て事業所で対応可能な段階で退院出来る様に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合や終末期のあり方について、本人やご家族の気持ちを尊重し、早い段階から事業所で出来ることを十分に説明している。重度化した状態に応じて主治医、看護師を交えて話し合い医療連携を図っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	利用者の急変、事故発生時に備え、定期的に研修を行い、通常の業務、会議等でも知識の共有を行っている。発生時は連絡網の掲示に従って速やかに実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害、地震、水害等の災害時、利用者が速やかに避難できる様、月一回訓練を行っている。また、年2回、夜間、日中想定の避難訓練を消防隊員立ち合い、地域の協力の基行っている。平成31年より、水防法避難訓練を新たに実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の気持ちや人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない様、ミーティングや勉強会などの話し合いの場を持ち、意識の向上を心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望や思いを日常生活の中で表出できる様、また、自己決定できる様に一人ひとりに働きかけている。意思表示の難しい方は日常の中での表情を観ながら声かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や気持ちの変化に気づき、その人のペースを大切に生活できる様に、声かけや支援を行っている。体調によって入浴日の変更も柔軟に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎月、理美容の訪問サービスを利用し、ご本人の希望に応じた整髪を行っている。また、本人の希望を伺い服選びを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日食事のメニューを掲示し、音楽を流しながら食事が楽しくなる様に心がけて支援している。また、食材の下ごしらえやテーブル拭きなど出来る事、力を活用して楽しみながら準備や片付けを行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた献立を作り、個人の身体状況、嚥下状態に応じた食事形態にし提供している。水分量も1日の必要量は摂取出来る様好みに合わせる等工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、見守りを行っている。自力でのケアが、困難な方はスタッフでの介助で行っている。義歯は週3回の消毒洗浄をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の身体状況に合わせ、排泄のサインやパターン、おむつの種類等、スタッフ間での情報共有を行い、支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご本人に応じた飲食物の工夫や運動、腹部マッサージなど実施し、出来るだけ自然排便ができる様働きかけや予防を行っている。また、毎朝、牛乳、コーヒー牛乳等の提供をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴予定日は決めているが、個人の気持ちを尊重し、体調に合わせて実施している。入浴時も個々の皮膚の状態にあった石鹼を使用し個人のペースに合わせて安全第一に考えたケアを務めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に合わせた、居室の室温調整、机や布団等の調整を実施し、安心して休まれる様、臥床時の声かけに努めています。		
47		一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の身体状況と薬の用法、容量、副作用をカルテを通して理解しています。服薬時は細心の注意を払って症状変化等を確認し、主治医への情報提供を速やかに行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活暦を知り、好みや楽しみ事を提供する事で、生き生きと張り合いのある生活が過ごせるように支援しています。（コロナ禍で散歩の支援が難しい状況もある。）		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本年度は新型コロナ感染防止の為、外出支援ができない状況がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金の所持は遠慮して頂いているので、個々の要望に応じて必要な物は家族に相談した上で、預り金から購入し提供しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご利用者の状態に合わせて職員が介助支援し、電話をかけたり、かかってきた電話をとりついだりしています。手紙も同じく、やり取りを支援して、必要に応じて読み上げなどを行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間すべてにおいて、職員が清掃、消毒を行い、常に清潔を保つ様心がけています。室内に季節の花や壁飾りを設置しています。時間帯や天候に応じて、日光や空調管理を行い、居心地の良い生活空間作りを行っています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思に過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーなどを用いて一人でつくるげる空間を提供しています。利用者の希望や身体状況を考慮し、席の配置を行い、楽しく過ごせる様支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室は利用者が使い慣れた物や思い出の物を持参して頂き配置し、自宅での時間を過ごしている様な環境に配慮を行っている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	利用者が安全に自立した生活を送れる様に動線に気を配り環境を整えている。各居室では障害物となる物や家具の配置などご家族、スタッフ間で話し合い、整備、点検、排除などを行っています。		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られて いる。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない